

新飯能

発行
日本共産党
飯能市委員会
973-1091

金子とし江
090-7265-1601
山田とし子
090-4389-4439
新井たくみ
090-4010-5650
滝沢おさむ
090-7000-4481

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所456)
Mail jcp-sigi@pluto.plala.or.jp

こんなときに国保税大幅値上げ

市長選後 値上げ次々と

27日、国民健康保険運営協議会(小島博会長)が開催され、来年度に予定している国民健康保険の税率改正について協議されました。

極めて厳しい運営を強いられているとして3つの値上げパターンを示しました。

市は、国保加入者は不況による所得の落ち込み、リストラ等による被用者保険からの生活困窮世帯の加入などで、保険税収入が減少していること。また、保険給付費の増加は、医療技術の高度化に伴う医療費の増大などで、



資料によると、国保の加入者は13642世帯、24950人。加入者の年齢構成は60歳から74歳までが47%と約半分。保険税は課税所得200万円までの低所得階層の世帯が約7割以上を占めています。病院等に支払う医療費は、特に調剤の伸びが大きくなっています。主な要因として元々高い薬価に加え診療報酬のアップが影響しています。患者の負担と保険料にはね返らないように、国庫負担を増額しなければなりません。

税率改正 所得金額 (万円)	現行税額	パターン1		パターン2		パターン3	
		2億円増税 増税額	7600	3億円増税 増税額	2200	4億円増税 増税額	12200
0	52400	60000	7600	64600	2200	64600	12200
100	128800	149200	20400	157600	28800	163000	34200
200	252200	294200	42000	309200	57000	322600	70400
300	339200	393200	54000	411200	72000	432600	93400
400	426200	492200	66000	513200	87000	542600	116400
500	499800	573800	74000	597800	98000	635200	135400
600	563800	640800	77000	667800	104000	690000	126200
1000	680000	690000	10000	690000	10000	690000	10000

が21年度の見込み額として、4億1790万円(昨年より約1億2000万円多い)。22年度23年度はさらに大幅な

医療費の予測を立てています。
繰入限度額を設定

飯能市は他市に先駆け04年に「国民健康保険事業財政健全化計画」を策定し、09年からの「第2次健全化計画」では「一般会計からの繰入限度額を2億円として、保険給付費の収支の不均衡が生じる場合は保険税率を見直す、2010年度以降は後期高齢者医療制度と同様に原則として2年ごとに税率見直しを行う」としています。

このような繰入金の上限を定めて値上げを位置づけている自治体は他にありません。どの自治

不況打開 なくせ貧困
守ろう!命とくらし

11・8 国民大集会

11月8日(日) 12時開会
代々木公園(JR原宿駅)

*13時開会デモ行進

連帯のあいさつ
反貧困ネットワーク代表
宇都宮 健児 弁護士
集会とデモ行進

11・8国民大集会実行委員会

野外ステージではアマリアティバ 開催
世界の民族音楽、民芸品・郷土料理のケータリング販売。

返済方法の改善や減免も 奨学金の未収金一八六〇万円

現在、平成20年度決算特別委員会が開催されていますが、奨学金の未収金が年を追うごとに増えていきます。飯能市の奨学金制度は、昭和46年に創設され、県内でもい

ち早くスタートしました。『経済的な理由により修学が困難な者に奨学金を貸与して、社会に貢献する有為な人材を育成すること』を目的とする『として、高校など月額2万円、

大学・専修学校は月額3万円を貸与し、修学期間を終了した時点から10年以内に返還することになっていきます。しかし近年、企業の海外進出で生産拠点の縮小や移転、安定雇用の増大など生活基盤そのものがゆるいでいることから、奨学金をきちんと返せない若者がふえています。

未収金の推移は、平成12年:約155万円、平成15年:約407万円、平成20年:約1860万円、平成20年で、雇用情勢が厳しいうえに、1年分を一括で返済するのも容易ではありません。

返済方法の改善や本当に困っている人には減免の適用も求められます。

波 紋

子どもの頃の夕食はうどんやひもかわが多かった。うどんの玉を踏むのが子どもの仕事で、汁は醤油だけの具の何も入っていない。今でも夕食はうどんが一番です。このうどんも寛永19年(1647年)の飢饉の際には江戸幕府によって警沢品として全国的に禁止令が出されたというから面白いものです。飯能青年会議所の「武州飯能うどん」で街おこしのとりにくも「うどん好きの」なせる業で、ぜひ成功して欲しいと思います。「武州飯能うどん」の定義は、飯能とその周辺でつくられている、飯能の水でつくられている自家製麺であるということです。ここでも「地元の水」が大きな「売り」になっていきます。うどんのブランド化を通して見えてくるのは、市民の同意もなしに沼辺市政がすすめている「県水」導入の是非です。「武州飯能うどん」は「飯能の水を守る」ことの大切さをあらためて教えているのではないのでしょうか。

下水道料金値上げに慎重論

第4回下水道審議会開催

10月28日、第4回下水道審議会(及川会長)が開催され、前回の審議会に具体的に提案されていた値上げ案について、もう一度意見交換を行いました。

会長はじめ出席した委員はほぼ全員が、雇用も市民生活も一番厳しい時代、この時期に値上げをするというのはよろしくないという意見でした。

市は、値上げの理由として、飯能市の「汚水処理費」は、利用者が負担する使用料と一般会計から下水道特別会計への繰り入れ金で賄っています。この繰入金が大きいので、平成22年と、25年の2回で約2億1千万円を使用料の値上げで回収したいとして、22年度には1億1千万円を25年度にはその残りをさらに値上げしたいというつもりでした。具体的には現在1立方メートルあたり使用料単価が112円、処理費用が194円で逆ざやが82円になっていて、2回の値上げで使用料単価を150円としたいとのこと。



どう答えればいいの? 4次総振アンケート

飯能市の第4次総合振興計画は平成18年度に策定され、前期基本計画は22年度で終了となるため、21年度から2年間をかけて後期基本計画が策定されます。この後期

基本計画策定に向けて、18歳以上の市民から地区別、男女別、年代別の条件から2000人を抽出して市民意識調査アンケートが行われています。

このアンケートが送られてきた方から、調査内容があまりにも多岐にわたるため、自分の知らない事や分からない事がたくさんありすぎて答えようがないなどの声があります。

ある方は、「飯能市に引越して来たので、過去の振興計画での経過も知らず評価の基準が分からない」ともいいます。アンケートは自然環境、生活環境から地域基盤、国民健康保険などの保険制度、教育、行政運営など36項目、市政全般にわたっての設問になっており、いずれも市民に係はあるものの、「自分が直接係わらない質問に

征天町にある終末処理場の施設を、将来の人口増を見込んで(12万人)処理能力59150立方メートルの過大な施設をつくり、現在稼働しているのは33800立方メートル、6割弱であることや、37億円で購入した処理場に隣接する3・8畧の未利用地などの元利償還金が含まれており、こうした市の失敗を使用料に転嫁してはならないのです。しかし市は、昭和61年以来6回の値上げを行い、現在20立方メートルの使用料で、埼玉県内63事業体の中で高い方から25位、県内単独公共下水道では、日高市、東松山市に次いで3番目に高い料金に

金となっています。今でも、高い負担をしているのですから値上げは避けなければなりません。また、今後の事業として、老朽化した施設の改修や下水道認可区域の中で未整備世帯は3600世帯ですが、そのほとんどが区画整理地内となっていて、一日も早い整備が求められます。そのため、市街化区域に二重に課税されている「都市計画税」をもっと下水道に使用して、残された区画整理地内の下水を促進することが求められるのではないのでしょうか。

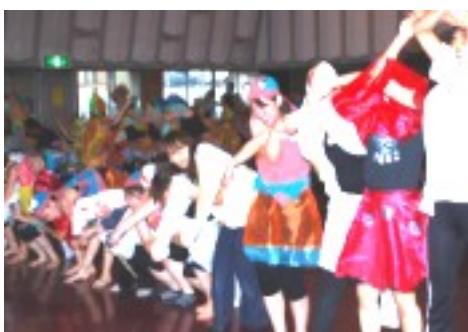
憲法ミュージカル2009 「ムツゴロウラプソディ」

前々貴在住の石橋寿恵子さんが振付の憲法ミュージカル2009「ムツゴロウラプソディ」の練習が山場を迎え、10月25日、飯能中央公民館で通し稽古が公開されました。面積1700平方メートル、九州の宝の海「有明海」、生き物の生まれ出づる場所だった諫早湾の干潟事業は、1977年4月14日、293枚のギロチン水門により諫早湾奥部を閉めぎりました。干潟は

家庭裁判所は駆け込み寺

家庭問題を考える会主催の、裁判官と弁護士との対談が27日に行われました。対談したのは、さいたま家庭裁判所の裁判官と家庭裁判所の裁判官を経験したことがある安倍晴彦弁護士です。家庭裁判所の役割は、駆け込みやすい近い所として、簡易裁判所の中にはないのでしょうか。

出張所として置かれたそうです。対談の中で、家庭裁判所で審理する案件の多くは離婚の問題ですが、刑事事件の裁判のよつにマスコミや社会の注目をあびる度合いは低いものの、家庭生活の問題は日常生活に直接に関わることであり、とても重大であると強調されました。参加した市民からは、「離婚の調停には、子の意見表明はどの程度尊重されるのか」などの質問が出されました。



0人の出演者が舞台いっぱい感動を伝えます。今回、埼玉県内の公演は、11月21日の飯能公演のみとなりますが、今から楽しみです。

「ムツゴロウラプソディ」
11月21日(土)午後5時
飯能市民会館